

総合計画は

まちづくりの設計図



古い歴史と豊かな自然に恵まれた私たちのまち宇都宮は、平成19年3月に、当時の上河内町・河内町と合併し、北関東初の人口50万の都市となりました。

宇都宮市では、これからも、私たちのまち宇都宮が、みんなが夢や希望を持って幸せに暮らせるまち、魅力にあふれ選ばれるまち、いつまでもかがやき続けることができるまちになることを目指して、これからの新しいまちづくりの設計図である「第5次宇都宮市総合計画」をつくりました。

この設計図にもとづき、まちづくりを進めていくためには、宇都宮に住んでいるすべての人々が「こんなまちにしよう」という共通の目標を持ち、地域の課題の解決に、みんなで協力し合って取り組んでいくことが重要です。

みんなが目指す 将来のうつのみや

目標 平成34年までに実現!!

くらしいきいき 夢のみや
まちキラキラ
つながる人★
うつのみや

「くらしいきいき」は、みんなが健康でのびのびと、生きがいあふれる生活を送れるまちになること、
「まちキラキラ」は、地域が魅力にあふれ、まばゆく輝いているまちになること、
「つながる人のみや」、「つながる夢のみや」は、人と人の「きずな」や地域のつながりが強く、
いつまでも夢を抱き続けることのできるまち、
いつまでも発展し続けていけるまちになることを表しています。



みんなが幸せに暮らせるまち



3ページへ

みんなに選ばれるまち



5ページへ

いつまでもかがやき続けるまち



7ページへ

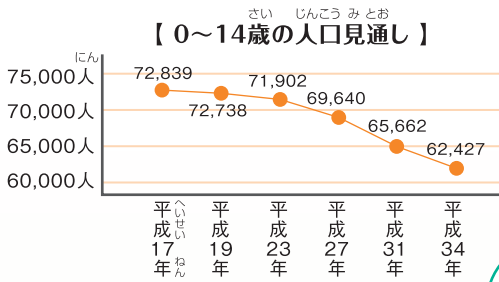


9ページへ

目指すまちの「つくり」、『ネットワーク型コンパクトシティ』

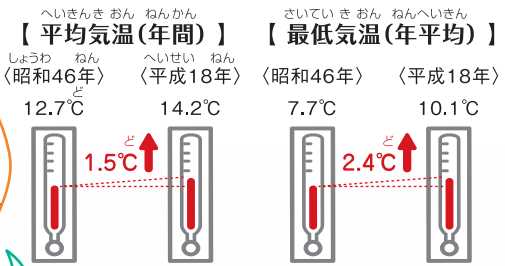
これからのまちづくりに向けて **みんなで解決しなくてはならない課題**

お父さんやお母さんが安心して
子どもを生み育てられるようにする。



子どもの数ももっと少なくなってしまうのね。

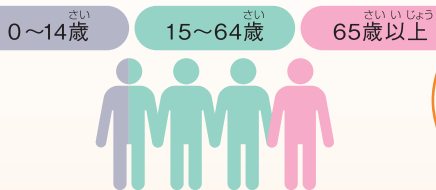
「もったいない」の気持ちを持って
環境にやさしい生活や行動を実行する。



宇都宮市も温暖化が進んでしまっているのね。

お年寄りが健康で生き生きと
楽しく暮らせるようにする。

【年齢構造別の人口見通し】



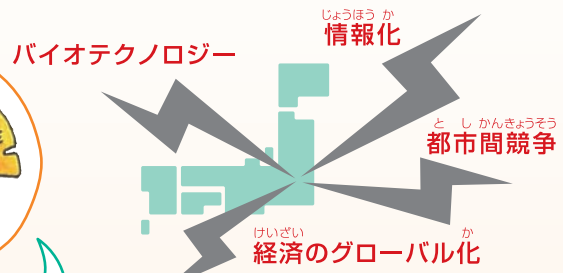
平成34年には4人に1人が
お年寄りの時代になるんじや。

近所や地域のみんなが支え合うことや、地域の課題に
私たちみんなで、協力しながら取り組んでいくことが
一層、大切な時代になってきたんじや。

地域の人たちが力を合わせて、
地域を良くする。



宇都宮市の工業、商業、農業を
さがんにする。



世界で起きている出来事が、私たちの生活にも
すくに影響してくるようになってきたんじや。

その他にも、さまざまな課題があります。

- 安全・安心に暮らせるまちをつくる
- 人口50万の都市にふさわしい魅力のある場所をつくる
- バスや電車など、公共交通を利用して、誰もが
行きたいところへ行けるようなしくみをつくる
- 歴史や文化など、宇都宮の個性を磨き、
全国にアピールする
- やさしさや思いやり、夢を持った「人間力」の高い
「宮っ子」を育てる